

赤旗信州秋まつい

第35回赤旗信州秋まつりが松本市やまびこドームで開催され参加した。

「総選挙勝利と震災・原発事故被災地との連帯」に添った運営で活気があった。参加者は3500人とのこと。

私は人との出会いや思いがけない掘り出し物（買い物）に期待もあったが、あいにく腰痛とあつて活発に動けなかった。その代わりゆつくり座つて（これも疲れる）催し物

福島被災者と連帯 総選挙勝利と原発に頼らない復興を目指す



記念講演は小池晃副委員長

に観入った。太鼓や歌、コーラス、三味線など楽しめた。一方弁士の方々も多彩で、被災地福島から参加された阿部県議の話は生々しく、改めて政府や東電。御用学者の無責任ぶりに腹が立った。

衆議院選予定候補（1区5区）も勢揃い。（写真）

ブレない共産党、今度その勢いに圧倒された。圧巻は小池晃さんで歯切れ良く次から次へと熱く情勢を語られた。

話題は領土問題、原発ノ、TPP、3.11復興問題、大

阪（日本）維新の会、沖縄オスプレイ配備など見事に本質と出口を示してくれた。

かたや、自分の意志だけで行動を始めた市民運動、十万を越す集会の成功などにも触れ、アメリカ力言いなりの政府ではだめだ、そのために共産党を大きく躍進させて欲しいと締めくくられた。

まさにその通り、領土問題に對して見られる暴力的言論に迷わされず、平和解決こそ平和日本の道、安保反対、九条守れ選挙勝利が私の感想。

米沢加奈子

赤旗まつりで きやらぶき販売

共産党は政党助成金をもらっていないので、国政選挙費用や活動費を皆さんからの善意の力ンバで賄っています。

少しでも資金を作ろうと思いい、赤旗まつりできやらぶきと福神漬を販売しました。

福神漬は数が少なかったのですぐ完売しましたが、きやらぶきは半分以上売れ残っていました。広津の山でとってきたふきでたくさん作り、冷凍保存しておいたものを300円（120g入り）で売ったのですが「取らぬ狸の皮算用」となっていました。

赤旗まつりには沢山のブースが並びますが、一番売れるのはすぐ食べられる「ご飯もの」だとのこと。景気が下向きの今は余分なものは買わない傾向になつていようです。

今年の失敗にこりずに来年は「栗おこわにしようか」などと考えていますが、どうなることでしょうか。

山本久子

一般質問

9月議会から

牛越 邦夫

一般質問が18、19日に行われ傍聴しました。勝山町政二期目の初議会であり10名が質問に立ちました。共産党2議員は「町長選の公約実現」「住民要望の具体化」を中心に質問しました。

服部議員

公約実施は25年度以降

服部議員は共産党が以前から要望していた「18歳までの医療費無料化」「保育料の引き下げ」「在宅介護者の慰労金支給」を町長が選挙公約にしたので、早期の実施を求めました。

「医療費」と「保育料」については25年度から実施、慰労金支給は26年度以降との回答がありました。服部議員が要求した介護用おむつ等の支給は今後の検討課題としました。「就学援助受給者の給食補助」については、全額補助する（現在8割）と回答しました。

学校教育の問題点など

服部議員は「学校・職員評価制度をどうとらえるか」聞き「県の評価制度は心配ない

薄井議員 公約をどうするか

薄井議員は町長公約の「山の日」制定を求め「26年頃制定したい」と回答を得ました。森林セラピーの導入検討を求めましたが「いい提案だが町独自の実施は困難」との答でした。「地下水保全条例の制定」について質問。「条例制定は対策協議会で足並をそろえたい。池田の地下水低下はさほど見られないが、余裕があるか難しい判断」と回答しました。

「町なか再生計画の策定は時間をかけて検討し、検討委員に公募者を入れて」との要求には「公募は行わず、各団体代表に委員を依頼する。国の補助金申請の関係で早急にやりたい」との回答でした。

アップランドの撤退

薄井議員は「アップランド池田店が撤退することは、買い物困難な住民に大きな影響を与えるので店側としっかり話し合いをして欲しい」と

質問。町は「店側はデリシア型店舗を希望しており、立地条件整備は大きすぎて町単独では要望に応えるのは困難だが、話し合いは続けたい」と回答しました。高齢者が歩いて行ける店舗がなくなること

は大きな問題で、従業員は働く場所がなくなってしまうます。真剣に話し合いをして欲しいと思います。

その他、自主防災組織の充実について質問。「自主防災役員は自治会役員と別組織にすることが望ましいがそうな

町の話題

服部 守正

安曇野クラフト展

第6回目となる町立美術館主催池田クラフト展は名称を「安曇野クラフト展」と改め、町内外から20名の作家を募り「夢二の夢、そして恋」展と合わせて美術館の企画展（有料）として10月13日から11月4日まで開催されます。（月曜日は休館）ワークショップは染付け

教室、籐椅子作り、藍染体験などが創造館も利用して開かれます。ホールでの展示、販売も例年どおり行われます（ホールは無料）。秋の1日、美術館でクラフト・夢二そして日本一の景観を楽しみましょう。入館料は大人800円、大